

アセビ

[木本] 《忌避》



高地では低木に、
林内では小高木に
なる。



生育場所により葉の幅が違う。



花は下向きに咲く。

区別のポイント

前年の夏から花芽をつけている。花は下向きに咲き、果実は上向きに付く。

形態 常緑低木～小高木。高さ1～4 m。

分布 本州（山形県・宮城県以南）・四国・九州

名前の由来 有毒植物で、食べた馬が苦しむ、または足が痺れたように見えることから。

葉 **〈全体〉**長さ3.5～5.5 cmの倒披針形または長楕円形。

〈付き方〉枝先に集まって互生する。

〈葉柄〉長さ2～7 mm。 **〈基部〉**次第に狭くなる。

〈葉先〉鋭尖頭。

〈縁〉上半分に鈍鋸歯。

備考 有毒：アセボトキシン。

出典 1, 4, ※